

テーマ

今こそ看護職と心理職の協働を考える



HIV感染症の長期療養が可能になった今、治療の一環としてメンタルヘルスの支援も求められています。

チーム医療を行っていく中で、それぞれの職種が他職種に何を求めるのか、そしてそれぞれの職種がどのような視点で患者さんを見ているのかを知り、どのようにしてチームとしての患者理解とメンタルヘルス支援に繋がっていくのかを考える場として本シンポジウムを企画しました。

みなさまのご参加をお待ちしております。



プログラム

<進行>

城崎 真弓 (九州ブロックブロック拠点病院
NHO九州医療センターHIVコーディネーターナース)

木村 聡太 (国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター心理療法士)

18:00-18:05 開会挨拶 横幕 能行 (NHO 名古屋医療センター エイズ総合診療部長、
エイズ治療開発センター長)

18:05-18:20 より“立体的”なアセスメントを目指して
～検査を用いた看護と心理の協働の在り方～

大友 健 (国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター心理療法士)

18:20-18:35 HIVカウンセラーとの協働経験を通じて今思うこと
～ HIV 看護師の立場から～

戸時 祐子 (東京都中核拠点病院
慶應義塾大学病院 HIV コーディネーターナース)

18:35-19:05 総合討論

19:05-19:10 閉会挨拶 池田 和子 (国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター看護支援調整職)



開催日時 2023年1月18日(水) 18:00～19:10

方法 Zoomによるオンライン開催

対象者 全国のエイズ治療拠点病院の看護師、カウンセラー等

申込方法 ・HP (<https://www.acc.ncgm.go.jp>)
・QRコードから



問い合わせ先 国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センターケア支援室

木村・池田 ☎03-5273-5430 (平日9:00-17:00)



申込締切 2023年1月11日(水) 正午